

産業能率大学 情報マネジメント学部

国際関係史	履修年次	1	
	単位	2	
山崎 紀彦	配当期	後	
	授業方法	講義 / 対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>まず、アメリカ、EU、日米関係、中東、中国、朝鮮半島で顕在化してきている動きを追い、その歴史的な要因を整理する。並行して、第二次世界大戦後から 1960 年代までの世界の動向を知り、現代の世界の様々な問題に影響を与えていることを理解する。冷戦の展開、戦後の復興と経済発展、アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題、平和共存への模索などについて基本的知識を整理する。さらに 1970 年代以降の世界の動向と社会の特質を知り、今後の世界の在り方について考える。市場経済のグローバル化とアジア経済の成長、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発などについての基本的知識を整理する。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化社会を生きるうえで必須の常識となる歴史的事実の基本知識を身につける。 ・なるべく客観的な歴史認識を身につけ、現在の諸問題の意味を理解して冷静に考察することができる。 ・過去を理解することにより、他者とともに生きる国際社会における相互交流に積極的に関わることができる。 			
成績評価の方法			
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験、課題、小テスト、授業外学習、授業出席により総合的に評価する。 			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション	8	沖縄問題とは何か(2)
2	アメリカという「不思議」の国(1)	9	中東問題とは「ユダヤ人」「イスラム」とは何か(1)
3	アメリカという「不思議」の国(2)	10	中東問題とは「ユダヤ人」「イスラム」とは何か(2)
4	EUは何を目指したのか(1)	11	中国の「失敗」と成功(1)
5	EUは何を目指したのか(2)	12	中国の「失敗」と成功(2)
6	戦後の日米関係を総括する	13	朝鮮半島問題
7	沖縄問題とは何か(1)	14	世界地図を読む